

第 48 回 経営協議会議事録

日 時 平成 24 年 6 月 14 日 (木) 10:00～11:30
場 所 本部棟大会議室
出席者 長澤学長，金山理事・副学長，吉田理事・副学長，三竹副学長・事務局長，
前田副学長，大社委員，鈴木委員，和田委員，渡辺委員
欠席者 棚橋理事，斎藤委員，米沢委員
陪席者 横堀監事，橋本監事

議事に先立ち，議長から，4 月 19 日開催の第 47 回経営協議会議事録については，案を事前に電子メールにて構成員に配付し内容の確認を行ったところ，特に修正すべき箇所がないことから，原案どおり確定したい旨諮られ，承認した。

また，今後の議事録の確定については，メールで確認いただいた上，特に修正意見がなければ確定することとしたい旨諮られ，承認した。

議 題

1) 平成 25 年度概算要求事項について

議長から発議のあと，三竹副学長・事務局長から，資料 1 に基づき，平成 25 年度概算要求に係る重点事項について説明があった。

また，現在，文部科学省に事前説明中であるため，要求順位及び要求額の決定等については，議長に一任いただきたい旨発言があった。

審議において，委員より以下の意見があった。

- ・ 畜産フィールド科学センターの乳製品事業について，国際標準の認証を取得することは，教育機能充実を目的としていることはわかるが，取得やその後の維持・管理の困難さや，それに要するコストを考慮すると生産力向上が見込めるのなら，事業拡大も検討してみてもどうか。
- ・ 国際専門職業人の養成について，文言だけでは漠然としており具体的にどのような人材をイメージしているのかわかりにくい。
- ・ アジアの交流大学等との学生交流の充実などにより，現地で指導できるような即戦力の人材が育成されれば企業のニーズに合うと思う。

審議の結果，原案どおり承認した。

2) 第8期事業年度(平成23年度)財務諸表(案)について

議長から発議のあと、三竹副学長・事務局長から、資料2に基づき、第8期事業年度(平成23年度)財務諸表(案)の概要について説明があり、財務課長から詳細について説明があった。

また、橋本監事から、本件に係る監査報告があった。

審議において、委員より以下の意見があった。

- ・ 人件費比率が低くなるのが、教育機関として良いことなのかは疑問を感じる。
- ・ 教員一人あたりの業務パフォーマンスが重要であり、具体的に難しいかもしれないが、いかに能力の充実度を可視化することができれば、人件費比率の増減とは別の指標ができると思う。

審議の結果、原案どおり承認した。

3) 平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

議長から発議のあと、総務課長から、資料3に基づき、平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書の内容、今後の日程等について説明があった。

また、議長から最終的な文面の確定については議長に一任願いたい旨発言があった。

審議において、委員より以下の意見があった。

- ・ この資料では、実施した様々な取り組みが記載されているが、成果がわかりにくいものが多い。
- ・ 共同研究等の成果による知的財産の管理・運営については、最初の契約等において、きちんと定めておくことが必要である。
- ・ 知的財産の管理・活用については、大学の本来業務から離れてしまうので、専門機関へ管理・委託する方が良いのではないか。
- ・ 国際協力に当っては、学生の安全を確保する仕組みを持っておくことが大事である。

審議の結果、原案どおり承認した。

報告事項

1) 教員の選考について

吉田理事から、資料4に基づき、5月16日開催の第126回教育研究評議会で承認された講師採用1件及び6月13日開催の第127回教育研究評議会で承認された准教授採用1件、助教採用1件の教員選考について報告があった。

議長から、第49回経営協議会は、10月18日(木)10時から、本部棟大会議室において開催する予定である旨発言があった。

以 上